

H A G I

萩

題字は吉田松陰筆跡

SPRING ISSUE 2015

75



そめつけはな かごもん おおざら
染付花籠文大皿

口径64.2cm 個人蔵

※写真提供／(株)世界文化社刊『伊万里染付の美』より

HAGI URAGAMI MUSEUM

伊万里？染付？大皿の魅力とは？

山口県の特産品には萩の夏みかん、ブロッコリーと中国野菜のサイシンをかけ合わせた山口県オリジナル野菜「はなっこりー」のほか、三方を海に囲まれることから海の幸やその加工品の生産も盛んです。なかでも有名なのがフグです。現代ではフグといえばフグ刺しですが、それは何に盛られているかというところ、そう、大皿です！フグの刺し身から透ける図柄は、食していくうちに鮮やかな姿を見せ、宴の席をいっそう盛り上げます。器は単に料理を盛るだけの道具ではなく、その形や描かれた図柄、色合いの美しさなどが時として場を盛り上げます。その大皿の魅力をつぶりとご紹介する展覧会が6月6日から開催されます。「図変り」大皿の世界 伊万里染付の美展は、直径40cmを超える大皿とそれに描かれた図柄をつぶりお楽しみいただける展覧会です。

伊万里とは？ 染付とは？

染付とは白地に青色で図柄を表したやきものの日本での呼び名ですが、中国では「青花」と呼ばれています。これは、中国の江西省にあります景德鎮窯で14世紀初頭に開発され本格的な生産がはじまりました。日本では江戸初期(17世紀)から肥前有田、現在の佐賀県有田の一带で中国の青花磁器を模した染付が作られ、その多くが近くの伊万里港から全国各地へ向けて流通したことから「伊万里焼」と呼ばれています。伊万里焼には赤色や緑色、金色など複数の色による上絵付け(釉薬の上に図柄を描く)で図柄を表した「色絵磁器」(写真①)もありますが、染付(釉薬の下に図柄を描く)は素地の上に酸化コバルトを主成分とする絵具で図柄を描き、さらに上から透明釉をかけることで白と青の世界を表現しています。染付の図柄の表現技法では、大きく「線描き」



① 色絵磁器

と「濃染め」が要となっています。線描きはさまざまな図柄の輪郭などを描く時に、濃染めはその中を塗る時に使われる技法です。また、濃染めには濃濃・中濃・淡濃と呼ばれる3つの濃度があり、その使い分けで立体感を出すなどして多様な表現を可能にしています。このように染付は、工夫を凝らした表現技法と洗練された職人技で多様な図柄が描かれました。

大皿って使っていたの？

これまで伊万里や染付、図柄の表現技法について紹介してきました。では、このような大皿は図柄を鑑賞するためのものだったの？と思われる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。大皿は江戸中期以降に広まった食文化には欠かせないものでした。中国の僧隠元が渡来して京都でひらいた黄檗山萬福寺では、中国様式の精進料理である「普茶料理」が同時にもたらされました。そこでは大皿が用いられ、盛られた料理を四人で取り分けて食べるスタイルとして現在も受けつがれています。また、江戸中期以降に広く流通した皿鉢と呼ばれる皿よりやや深みのある大きな器を使った高知の名物料理「皿鉢料理」でも、大皿を埋めるように海の幸やそのほかの料理が豪快に盛られます。このほか、長崎の「卓袱料理」や、江戸の新鮮な魚を使った料理「江戸前」でも大皿がよく使われ、大皿料理は江戸後期にむけて各地で大衆化が進み、それに伴い多くの大皿が作られました。



宴席で大皿が使われる様子▶

「図変り」大皿 鑑賞の醍醐味！ 図柄をよみ解く

では、展覧会で展示する作品を2点取り上げて、その魅力をご紹介します。

大橋を背景に岩の上で小躍りする恵比寿さまが描かれています。いつもは手に釣竿を持っていますが、両手でかかえているのは大きな鯛です。とてもうれしかったのでしょうか、釣竿をどこかへ置き忘れてしまったようです。うきうきとした表情は酒宴を盛り上げたでしょう。



③ 染付恵比寿大橋文大皿

「ひょうたんからこま」という言葉は有名ですね。意外な場所から意外なものが出ることを意味します。これは中国の仙人が驢馬で旅をしている時に、休憩をとる間貴重な驢馬を腰に下げた瓢箪に畳んでしまい、出発の際に瓢箪のなかの水を噴き出すと驢馬が飛び出たという物語からきており、この作品はそれを染付で表現しています。



④ 染付瓢箪駒文大皿

いかがでしょうか？大皿の図柄を読み解くおもしろさを少しでもお伝えできたでしょうか？「図変り」大皿の世界 伊万里染付の美展ではこのような作品が約140点展示され、たっぷりとお楽しみいただけること間違いなしです。

ところで、はじめにお話ししましたフグですが、山口県では「フク」と呼ぶこともあり、「福」に通ずることから験を担ぐ音が好まれ使われています。大皿の図柄には縁起の良いものもあり、そういった大皿は江戸時代においても「ハレ」の場の雰囲気盛り上げる存在だったでしょう。このほか、洒落をきかせたものや当時人気の浮世絵を画題にしたものなど、さまざまな図柄の持つ意味をよみ解く時、「図変り」大皿のおもしろさに心をひきつけられるでしょう。

(市来真澄／当館専門学芸員)

<参考文献>

荒川正明(監修) 2013年
『「図変り」大皿の世界 伊万里染付の美』
株式会社世界文化社 発行〔本展覧会図録〕

- ① 色絵水葵双兔文大皿 口径47.3cm 個人蔵
- ② 歌川国貞『座敷の図』大判錦絵3枚続(部分)
江戸時代・天保期頃(1830～1843年頃)
山口県立萩美術館・浦上記念館蔵
- ③ 染付恵比寿大橋文大皿 口径56.5cm 個人蔵
- ④ 染付瓢箪駒文大皿 口径44.0cm 個人蔵
- ⑤ 染付鶴丸文大皿(部分) 口径57.4cm 個人蔵

※①、③、④、⑤の写真提供/(株)世界文化社刊『伊万里染付の美』より

「図変り」大皿の世界 伊万里染付の美

2015年

6月6日[土]～8月16日[日]

休館日 ● 月曜日(ただし、6月8日・7月20日・7月27日・8月3日は開館)

開館時間 ● 9:00～17:00(入場は16:30まで)

観覧料金 ● 一般 1,000(800)円 / 70歳以上の方・学生 800(600)円

※()内は前売りおよび20名以上の団体料金です。なお、18歳以下の方、および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学する生徒は無料です。

※前売り券は、ローソクチケット(Lコード67935)およびセブンチケット、県内各プレイガイドでお求めください。

主催：伊万里染付の美展実行委員会(山口県立萩美術館・浦上記念館、毎日新聞社、tysテレビ山口)

後援：山口県教育委員会、萩市

特別協力：エフエム山口、世界文化社



①

日本では江戸初期から肥前有田で、中国の青花磁器を模した白地に青色の図柄を表した染付が作られ始めます。その多くが近くの伊万里港から出荷されたことから伊万里焼と呼ばれ全国各地に流通し、江戸後期には直径40cmを超える大皿が多く作られました。豊かな図柄が魅せる「図変り」大皿を約140点の作品とともにたっぷりご紹介いたします。



②



③

- ① 染付鶴丸文大皿 口径57.4cm 個人蔵
- ② 染付恵比寿大橋文大皿 口径56.5cm 個人蔵
- ③ 染付瓢箪駒文大皿 口径44.0cm 個人蔵
- ④ 染付梅花水裂文大皿 口径46.0cm 個人蔵
- ⑤ 染付日本地図文大皿 口径48.0cm 個人蔵
- ⑥ 色絵水葵双兔文大皿 口径47.3cm 個人蔵

※写真提供
(株)世界文化社刊『伊万里染付の美』より



④



⑥



⑤

◆会期中は、ギャラリー・ツアー(学芸員による作品解説)を毎週日曜日11:00～12:00に行います。

関連イベント

① 記念講演会 ※参加無料、申込不要

演 題 ○「伊万里染付大皿の魅力をたずねて」
講 師 ○荒川正明氏(本展監修者、学習院大学教授)
日 時 ○6月6日[土] 13:30～15:00
場 所 ○講座室(座席数84席 当日受付先着順)

② 本格的! 染付! [染付体験] ※要事前申込

初心者でもできる、通常の絵付け体験とは一味ちがいが、昔から受けつがれる技法をご紹介しますながら本格的な作品の制作をめざします。プロの指導で、あなたも満足の一品を制作してみませんか? 制作に入る前に、展覧会作品を見学して創造力?!!をかき立てよう!!

日 時 ○7月18日[土]【午前の部】9:30～12:00【午後の部】13:30～16:00
場 所 ○山口県立萩美術館・浦上記念館 陶芸館多目的室
講 師 ○松尾優子氏(日本工芸会正会員、萩焼窯元 松尾藻風窯)

内 容 ○展覧会を解説とともに観覧した後、作品を制作します。磁器の素焼皿に、筆などを使って図柄を描きます。染付けた作品は、後日講師に焼成してもらいます。

対 象 ○各部、中学生以上15名

参 加 費 ○500円 ※別に観覧券が必要

申込方法 ○①参加者全員の氏名、②年齢(学年)、③住所、④電話番号、⑤FAX番号、⑥希望する時間帯(午前の部か午後の部)を明記のうえ、FAX(0838-24-2403)または往復ハガキにて下記申込先へ7月13日までに申込み下さい。

※定員に達し次第しめきります。

※作品の受取について:できあがった作品は、焼成のため当日持ち帰ることができません。後日、当館へ受け取りにお越しいただくか、宅配(着払い、宅配料は参加者ご負担)での受け取りも受け付けます。

申 込 先 ○〒758-0074 萩市平安古町586-1

山口県立萩美術館・浦上記念館「染付体験」係

素材のかたち

普通展示（陶芸）

会期：平成27年(2015)2月3日[火]～8月16日[日]

焼結することでやきもの（陶）へと変容する素材（土）。今回は、素材の視覚的質感が喚起する衝動力で自己を「かたち」にした陶造形を紹介します。それは、土の物質性を呼び戻し、観る者を「かたち」の背後に潜ませた作り手の思想や心象風景へと誘う表現手法です。崩壊と再生のイメージが濃密に交差する、十二代三輪休雪と三輪和彦の大型作品をご覧ください。

三輪和彦 恒久破壊 I 昭和62年(1987)



古萩

普通展示（東洋陶磁）

会期：平成27年(2015)4月14日[火]～7月5日[日]

「一楽、二萩、三唐津」と謳われ、侘数寄に適う茶の湯の具足として、高い声価を得てきた萩焼の茶碗。高麗茶碗を生みだした朝鮮半島由来の作陶技術を伝え、江戸時代を通して、萩藩御用窯で製作された萩焼の精品は、藩主の御遺物として諸侯への進物や家臣への下賜に用いられるなど、限られた階層とその周辺に流通しました。

本展では、御用窯を中心に製作された江戸時代の萩焼を「古萩」ととらえ、多様性に富んだその豊かな美意識を、伝世の茶碗や巧みをこらした細工物などで紹介します。



萩井戸形茶碗 江戸時代中期・18世紀 口径17.0cm

小林清親 一光線画の時代

普通展示（浮世絵）

会期：平成27年(2015)4月14日[火]～5月24日[日]

小林清親(1847～1915)は、明治9年(1876)から14年(1881)にかけて「光線画」と称する風景版画を発表し、明治の版画史に大きな足跡を残しました。光線画は、光と影のさまざまな様相を繊細な感性で観察し、遠近や明暗、陰影を合理的に表現することでリアリティーを追求した新しい表現が特徴です。また文明開化がすすむ東京風景の中に、名残をとどめる江戸情緒が描かれ、みる者にノスタルジーを感じさせます。清親の没後100年を記念し、光線画の代表作をご紹介します。

小林清親 「東京小梅曳船夜図」
横大判錦絵 明治9年(1876) 個人蔵



橋口五葉

普通展示（浮世絵）

会期：平成27年(2015)5月26日[火]～7月5日[日]

特選鑑賞室

特選鑑賞室は収蔵する浮世絵版画のなかから名品1点を展示し、じっくりと鑑賞していただくコーナーです。

平成27年度は『名所江戸百景』から以下の12点をご覧ください。

Special Selection

2015年 4月

うたがわひろしげ
歌川広重

めいしょえ どりっけい
名所江戸百景
堀切の花菖蒲

大判錦絵 安政4年(1857)



堀切の花菖蒲園は文化年間(1804~18)に伊右衛門という人が花菖蒲の栽培を始めて以来、多くの人が訪れる名所となりました。花菖蒲越しに向こう岸を眺めるといふ、「二工夫された構図」の作品です。

5月

歌川広重

名所江戸百景
駒形堂吾妻橋

大判錦絵 安政4年(1857)



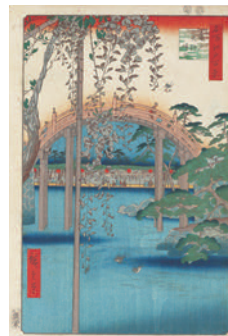
駒形堂と吾妻橋が左下に描かれています。赤い旗は、駒形堂の筋向いにあった小間物屋百助が宣伝に掲げたもの。空にはホトギスが飛び、吉原の遊女二代目高尾太夫の詠んだ歌「君は今駒形あたりほととぎす」を連想させます。

6月

歌川広重

名所江戸百景
亀戸天神境内

大判錦絵 安政3年(1856)



亀戸天神境内にある心字池。本来ならば太鼓橋の下にも空が続くはずですが、初摺は池と同じ藍色で摺られています。後にこの配色は改められました。

7月

にだい
二代歌川広重

名所江戸百景
赤坂桐畑雨中夕けい

大判錦絵 安政6年(1859)



雨の日のしっとりとした雰囲気か漂う作品。赤坂御門前の坂の辺りは森林や人の影が重なっています。この作品は二代広重を襲名した歌川重宣が描いたもので「二世廣重畫」と署名されています。

8月

歌川広重

名所江戸百景
両国花火

大判錦絵 安政5年(1858)



江戸の年中行事のなかでもとりわけ人気が高かった両国花火。夜空に打ち上げられた花火のきらめきが巧みに表現されています。隅田川には客を乗せた船が集まり、両国橋の上も見物人で賑わっています。

9月

歌川広重

名所江戸百景
猿わか町よるの景

大判錦絵 安政3年(1856)



歌舞伎や人形浄瑠璃の芝居小屋、芝居茶屋が立ち並ぶ猿若町の夜の風景。人々は芝居が終わって帰路につく様子です。その姿は月に照らされ、地面に影を落としています。

10月

歌川広重

名所江戸百景
よし原日本堤

大判錦絵 安政4年(1857)



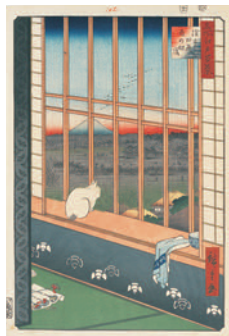
夕暮れの頃。上空では雁が月を横切って帰へ帰り、地上では人々が葦簾張りの茶屋が連なる日本堤を通過して吉原へと向かいます。

11月

歌川広重

名所江戸百景
浅草田雨西の町詣

大判錦絵 安政4年(1857)



11月の西の日は鷲神社で西の祭(西の市)が行われます。吉原の遊女屋の窓際からネコが見つめる先には、縁起物の大きな熊手を担いで歩く人々があります。お客からのお土産でしょうか。室内にもこの熊手をモチーフにした簪が置かれています。

12月

歌川広重

名所江戸百景
深川洲崎十万坪

大判錦絵 安政4年(1857)



冬の雪空に鷲が舞い、鷲と同じく高い視点から深川洲崎の荒涼とした様子が描かれています。遠くに見えるのは筑波山です。

2016年 1月

歌川広重

名所江戸百景
日本橋雪晴

大判錦絵 安政3年(1856)



雪がやんできれいに晴れ上がった日本橋の様子。手前には魚河岸があり、人々が魚を運んだり競りをしたりと賑やかです。遠景には江戸城、さらにその向こうには富士山が見えます。

2月

歌川広重

名所江戸百景
廓中東雲

大判錦絵 安政4年(1857)



夜明け頃、吉原の客は朝帰りをします。路上はまだ暗く、植込みの桜の花も薄曇りばかりで表現されています。

3月

歌川広重

名所江戸百景
隅田川水神の森真崎

大判錦絵 安政3年(1856)



隅田川上流西岸からの東岸と筑波山の眺め。右手にあるのが水神社で、このあたりの森を水神の森と呼びました。満開の桜の花が作品全体を華やかに飾っています。

平成27年度 年間展示のご案内

EXHIBITION SCHEDULE

2015.4→2016.3

	特選鑑賞室	茶室	展示室1 浮世絵	展示室2 東洋陶磁	展示室3・4・5・6 特別展示	陶芸館1階 陶芸	陶芸館2階 陶芸・工芸
2015 4	歌川広重 名所江戸百景 堀切の花菖蒲 4/1-30				第38回山口伝統工芸展 4/2-4/12		
5	歌川広重 名所江戸百景 駒形堂吾嬬橋 5/1-31		小林清親 —光線画の時代 4/14-5/24	古萩 4/14-7/5	2015年NHK大河ドラマ特別展 「花燃ゆ」 4/18-5/24		萩焼の現代 2/3-6/14
6	歌川広重 名所江戸百景 亀戸天神境内 6/2-30		橋口五葉 5/26-7/5			素材のかたち 2/3-8/16	
7	二代歌川広重 名所江戸百景 赤坂桐畑雨中夕けい 7/1-31		特集展示 第23回世界スカウトジャンボリー開催記念 やきものと浮世絵に遊ぶ 7/7-8/16		「図変り」大皿の世界 伊万里染付の美 6/6-8/16		山口県無形文化財の工芸 —萩焼・赤間硯・金工— 6/16-10/4
8	歌川広重 名所江戸百景 両国花火 8/1-31						
9	歌川広重 名所江戸百景 猿わか町よるの景 9/1-30	井上雅之の茶室 初形より—花型 4/11-2016/3/27	戯画 8/29-9/27		木版画家 立原位貫 —江戸の浮世絵に真似ぶ 8/29-9/27		
10	歌川広重 名所江戸百景 よし原日本堤 10/1-31		月百姿Ⅰ 9/29-11/1	緑釉陶器 8/29-12/6			
11	歌川広重 名所江戸百景 浅草田雨西の町話 11/1-29		月百姿Ⅱ 11/3-12/6		青磁のいま ～受け継がれた技と美 南宋から現代まで～ 10/10-11/29		佐藤典克展 —現在形の陶芸 萩大賞Ⅲ 大賞受賞者展 10/6-2016/1/17
12	歌川広重 名所江戸百景 深川洲崎十万坪 12/1-27		月百姿Ⅲ 12/8-2016/1/17			陶 —生命の讃歌 8/29-2016/3/27	
2016 1	歌川広重 名所江戸百景 日本橋雪晴 1/2-31				シリーズ山東文物9 中華の服飾芸術 12/12-2016/1/17		
2	歌川広重 名所江戸百景 廓中東雲 2/2-28		春景色 1/19-2/21	朝鮮時代のやきもの 12/8-2016/3/27			
3	歌川広重 名所江戸百景 隅田川水神の森真崎 3/1-27		豊原国周の美人画 2/23-3/27				茶陶萩 —伝統の革新— 1/19-5/8

山口県立美術館／山口県立萩美術館・浦上記念館

平成27年度 県立美術館

メンバーズクラブ

県立美術館メンバーズクラブでは、山口市/萩市にある2つの県立美術館をよりお楽しみいただける各種サービスをご用意しています。

会員特典

展覧会が3回まで無料!

2館の企画展(特別展示)の中から、

好きな展覧会を3回まで無料、4回目以降は半額でご覧いただけます。

また、普通展示(コレクション展)も3回まで無料、4回目以降は100円でご覧いただけます。

※対象の企画展は、裏面下段、「平成27年度 企画展(特別展示)スケジュール」をご覧ください。

※普通展示(コレクション展)の特典は、企画展(特別展示)と同時観覧の場合に限ります。

- 展覧会オープニングセレモニーへご招待!(抽選で10名様限定)
2館の企画展(特別展示)オープニングセレモニーに抽選で10名様をご招待します。
- 開催中の展覧会図録を割引販売! 図録価格は各展覧会ごとに異なります。
- 両館の展覧会、イベント情報などをご自宅にお届けします!
- カフェでのお得な特典をご用意しています! 詳しくは各館にてお尋ねください。
- 会員限定のイベントを開催!

- 年会費 一般会員:2,000円
学生会員(19歳以上の学生の方):1,700円
シニア会員(70歳以上の方):1,400円
- 募集期間 平成27年2月21日(土)～平成27年7月31日(金)まで
- 有効期間 ご入会日～平成28年3月31日(木)まで

会員規約・申込用紙は各美術館ホームページからもダウンロードいただけます。

入会した

その日から
使えます!

お問い合わせ

開館時間

9:00～17:00

山口県立美術館 URL <http://www.yma-web.jp/>

〒753-0089 山口市龜山町3-1 TEL083-925-7788 FAX 083-925-7790

山口県立萩美術館・浦上記念館 URL <http://www.hum.pref.yamaguchi.lg.jp/>

〒758-0074 萩市平安古町586-1 TEL0838-24-2400 FAX 0838-24-2401

2015	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
4	普通展示(浮世絵) 月岡芳年 一新形三十六怪撰 (~4/12)												普通展示(浮世絵) 小林清親 一光線画の時代 (4/14~5/24)																		
	普通展示(東洋陶磁) 染付 (~4/12)												普通展示(東洋陶磁) 古萩 (4/14~7/5)																		
	普通展示(陶芸) 素材のかたち (~8/16)																														
	普通展示(陶芸) 萩焼の現代 (~6/14)																														
	特選鑑賞室 歌川広重 名所江戸百景 堀切の花菖蒲 (4/1~4/30)																														
5	特別展示 第38回山口伝統工芸展 (4/2~4/12)												茶室 井上雅之の茶室 初形より 一花型 (4/11~2016/3/27)																		
	特別展示 2015年NHK大河ドラマ特別展「花燃ゆ」(4/18~5/24)																														
	普通展示(浮世絵) 小林清親 一光線画の時代 (~5/24)												普通展示(浮世絵) 橋口五葉 (5/26~7/5)																		
	普通展示(東洋陶磁) 古萩 (~7/5)																														
	普通展示(陶芸) 素材のかたち (~8/16)																														
6	普通展示(陶芸) 萩焼の現代 (~6/14)												普通展示(工芸) 山口県無形文化財の工芸 一萩焼・赤間硯・金工一 (6/16~10/4)																		
	特選鑑賞室 歌川広重 名所江戸百景 亀戸天神境内 (6/2~6/30)																														
	茶室 井上雅之の茶室 初形より 一花型 (~2016/3/27)																														
	特別展示 「図変り」大皿の世界 伊万里染付の美 (6/6~8/16)																														
	普通展示(浮世絵) 橋口五葉 (~7/5)																														

● 休館日 ● ギャラリー・ツアー (GTと記載) ■ ギャラリー・トーク ■ 記念講演会 ★ イベント

★イベント (聴講無料/当日受付先着順)

いずれも講座室(座席数84席)にて行います。

花燃ゆ展プレミアム講座

- ①吉田松陰自賛肖像考 一肖像画の中の松陰一
日時●4月19日[日] 14:00~15:30
講師●山田 稔氏(山口県立山口博物館学芸課主査)
- ②吉田松陰と家族の絆
日時●4月26日[日] 14:00~15:30
講師●三宅 紹宣氏(広島大学大学院教授)
- ③「花燃ゆ」ゆかりの人々
日時●5月 9日[土] 14:00~15:30
講師●小山 良昌氏(毛利博物館顧問)
- ④松陰門下生たちの戦いー攘夷戦争から幕長戦争ー
日時●5月10日[日] 14:00~15:30
講師●古城 春樹氏(下関市立長府博物館館長)
- ⑤吉田松陰と損取素彦 ー「至誠」でつながれた義兄弟ー
日時●5月16日[土] 14:00~15:30
講師●道迫 真吾氏(萩博物館 主任学芸員)

花燃ゆ三二展示ガイド

- ①吉田松陰自賛肖像編
日時●4月25日[土] 10:30~11:00
講師●山田 稔氏(山口県立山口博物館学芸課主査)
- ②高杉晋作と長州動乱編
日時●5月10日[日] 10:30~11:00
講師●古城 春樹氏(下関市立長府博物館館長)
- ③損取素彦・美和子編
日時●5月16日[土] 10:30~11:00
講師●道迫 真吾氏(萩博物館 主任学芸員)

■記念講演会 (聴講無料/当日受付先着順)

伊万里染付大皿の魅力をつずねて
日時●6月 6日[土] 13:30~15:00
講師●荒川 正明氏(本展監修者、学習院大学教授)
場所●講座室(座席数84席)

●ギャラリー・ツアー

(担当学芸員による特別展示作品解説)
「図変り」大皿の世界 伊万里染付の美」会期中の日曜日11:00~12:00

■ギャラリー・トーク

(担当学芸員による普通展示作品解説)
いずれも11:00~(30分程度)

- 4月11日[土] 染付
- 4月25日[土] 小林清親 一光線画の時代
- 5月 9日[土] 古萩
- 5月23日[土] 萩焼の現代
- 6月13日[土] 橋口五葉
- 6月27日[土] 古萩

※ギャラリー・ツアーおよびギャラリー・トークへのご参加には観覧券が必要です。

■交通アクセス

【新山口駅から】

- 防長バスまたは中国JRバスで萩・明倫センターまたは萩バスセンター下車。
- 萩・明倫センターから徒歩約5分。
- 萩バスセンターより徒歩約12分。

【山口宇部空港から】[萩・石見空港から]

- 萩近鉄タクシー(乗合タクシー)約70分。(利用前日までに要予約)

【JR山陰本線】

- JR萩駅から萩循環まあるバス(西回り)約30分。
- JR東萩駅からタクシー約7分。
- JR玉江駅から徒歩約20分。

【自動車】

- 「中国自動車道」美祿東JCT経由、「小部萩道路」絵堂ICから約20分。
- 「山陰自動車道」三見ICから約10分、国道191号沿い。

